



新長期ビジョン及び中期経営計画の策定に関するお知らせ
2014/9/18 on Japan | Page. 1/1
2014（平成26）年9月18日 木曜日

各位

株式会社カナモト
(9678 東証第1部 札証)
代表取締役社長 金本 寛 中
〈資料に関するお問合せ先〉
社長室 広報課長 高山 雄 一
電話:011-209-1631

新長期ビジョン及び中期経営計画の策定に関するお知らせ

株式会社カナモト(代表取締役社長:金本 寛中 本社:札幌市)は、55期となる五年後の2019年を見据えたグループの目指す姿を「新長期ビジョン」として示し、その実現に向けた実行計画である2017年までの3カ年計画「中期経営計画」を策定いたしました。

当社は、今年の10月28日で設立50周年を迎え、次の50年はこれまで築き上げてきた基盤とグループ力を最大限に発揮し、継続的成長を目指し、カナモトブランドの確立と設立100周年を迎えられる強い企業となる為、以下の施策の推進に積極的に取り組んでまいります。

記

新長期ビジョン “BULL 55”

- Build Up a Legendary Leading company before the 55th -

当社グループは、重要な社会インフラとしての「レンタル」の使命と役割を自覚し高収益を基盤として、株主・顧客・社員に報いる、良質で強力な企業集団を目指す。

中期経営計画「BULL53」重点施策

1. 国内営業基盤の拡充

北海道、東北地区の売上を維持しながら、官民の需要が集中する首都圏等の大都市圏のほか、関東以西の未出店エリアを中心に拠点展開、M&Aを推進し、成長軌道を維持する。

2. 海外展開

上海、香港、シンガポールの既存子会社を維持拡大させつつ、さらに発展著しいASEAN諸国を中心に海外事業を展開し、当社グループの得意分野でもある地盤改良やシールド工法など特殊機械の需要が見込まれる、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、ミャンマー、カンボジアなど、各国における事業展開を図る。

3. 内部OPの最適化

当社グループの収益の根幹は建設機械の管理と業務の効率化にあると考え、貸出単価・値引管理の強化や「業務改善推進」による業務プロセスの向上からコスト削減、時短の実現を図る。

また、本部サポート機能の拡充、関連各社とのシステム統合により業務の一層の効率化を図る。

以上

※詳しくは、別紙資料をご参照ください。

新長期ビジョン BULL55

Build Up a **Legendary Leading company** before the **55th**

中期経営計画(2015~2017年度)

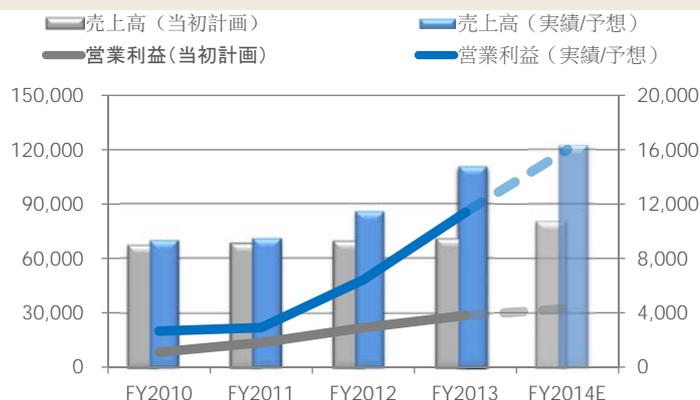
2014年9月18日

 株式会社カナモト

長期経営計画(2010~2014年度)の振り返り

■業績 ~最終年度目標の超過達成~

東日本大震災の復興需要
(2011/3)
M&Aによるグループ規模の拡大
(2012/06)
公共投資回復
(2012/12)



■財務健全化 ~金融収支が大幅改善

企業評価の向上:

発行体格付 「BBB-」(ポジティブ) → 「BBB」(安定的) (R&I : 2014/8)

「BBB」(安定的) → 「BBB」(ポジティブ) (JCR: 2014/9)

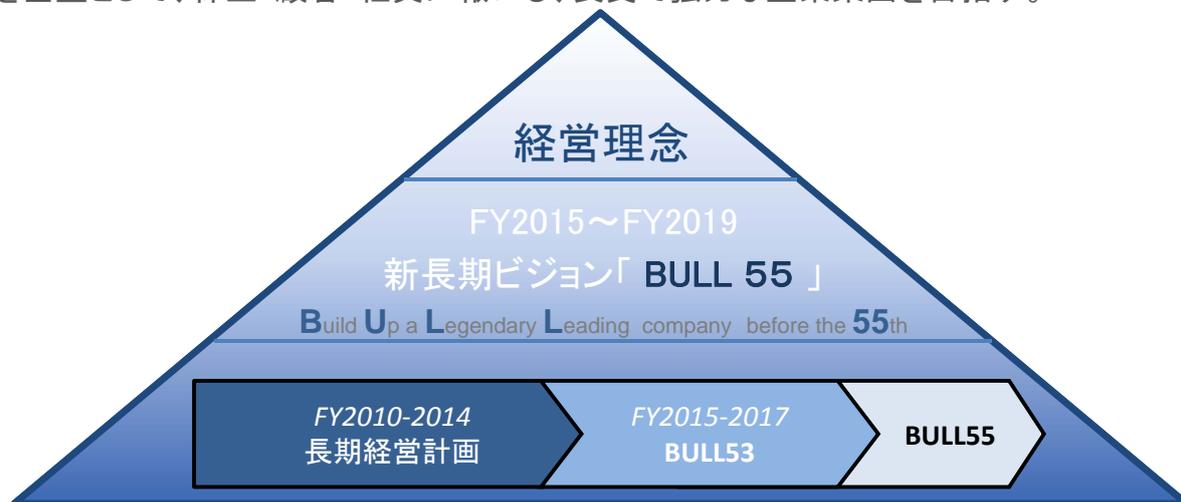
資金調達が多様化:

322万株(公募増資280万株+オーバーアロットメントによる売出し42万株) 2013/10

■カナモトグループ 新長期ビジョン

「BULL55」 ～Build Up a Legendary Leading company before the 55th～

当社グループは、重要な社会インフラとしての「レンタル」の使命と役割を自覚し高収益を基盤として、株主・顧客・社員に報いる、良質で強力な企業集団を目指す。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

3

1 現状把握と課題認識

事業環境の現状と今後の予想

- 国内建設市場
 - ・公共工事の増加
 - ・民間設備投資の増加
 - ・2020年の東京五輪を見据えたインフラ整備
再開発事業など、首都圏の建設需要が活発化
- 海外建設市場
 - ・シンガポール「国土利用計画」
 - ・香港「10大プロジェクト」
 - ・東南アジア新興国のインフラ整備需要の増加
- 今後の大型プロジェクト
 - ・国内:東京五輪関連、高速道路、整備新幹線、LNG関連など
 - ・海外:シンガポール(大型港湾整備)、香港(地下鉄、風力発電)
ベトナム、インドネシア、ミャンマーの大型港湾整備



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

4

2 中期経営計画「BULL53」重点施策

中期経営計画(2014/11-2017/10)“BULL53”

新長期ビジョン“BULL55”の実現に向けた実行計画である2017年までの3カ年計画、中期経営計画“BULL53”を策定し段階的達成を目指します。

重点施策

- 国内営業基盤の拡充
- 海外展開
- 内部OPの最適化



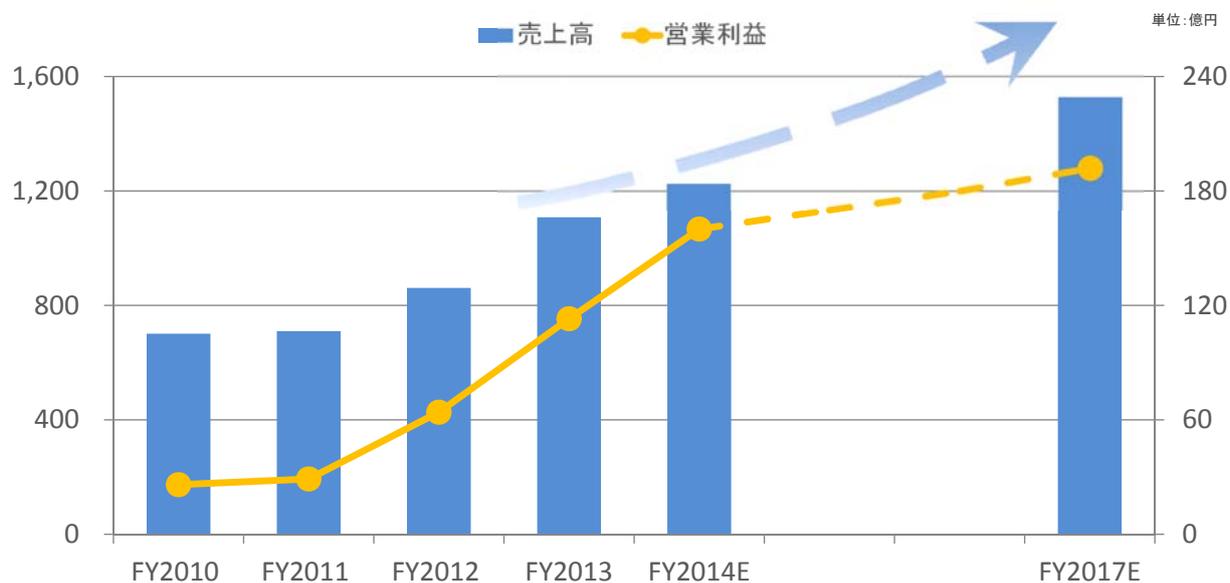
(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

5

3 数値目標

中期経営計画“BULL53”数値目標

2017年10月期は売上高1,500億円 営業利益190億円を目指す。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

6

3 数値目標

中期経営計画「BULL53」数値目標

| | FY2014/E | FY2017/E |
|---------|----------|----------|
| 売上高 | 1,226 | 1,500 |
| 営業利益 | 160 | 190 |
| 自己資本比率 | 35.9% | 45% |
| EPS(円) | 220 | 260 |
| BPS(円) | 1,717 | 2,400 |
| ROA | 4.6% | 5.0%以上 |
| ROE | 12% | 10%以上 |
| EBITDA+ | 400 | 500 |

単位:億円

3 数値目標

中期経営計画「BULL53」数値目標

キャッシュ・フロー

| | FY2014/E | FY2017/E |
|----------------|----------|----------|
| 営業活動によるCF | 21,693 | 28,562 |
| 投資活動によるCF | -3,449 | -5,099 |
| 財務活動によるCF | -22,765 | -21,021 |
| 現金及び現金同等物の換算差額 | 150 | -90 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | -4,371 | 2,352 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 32,957 | 34,007 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 28,586 | 36,359 |

単位:百万円

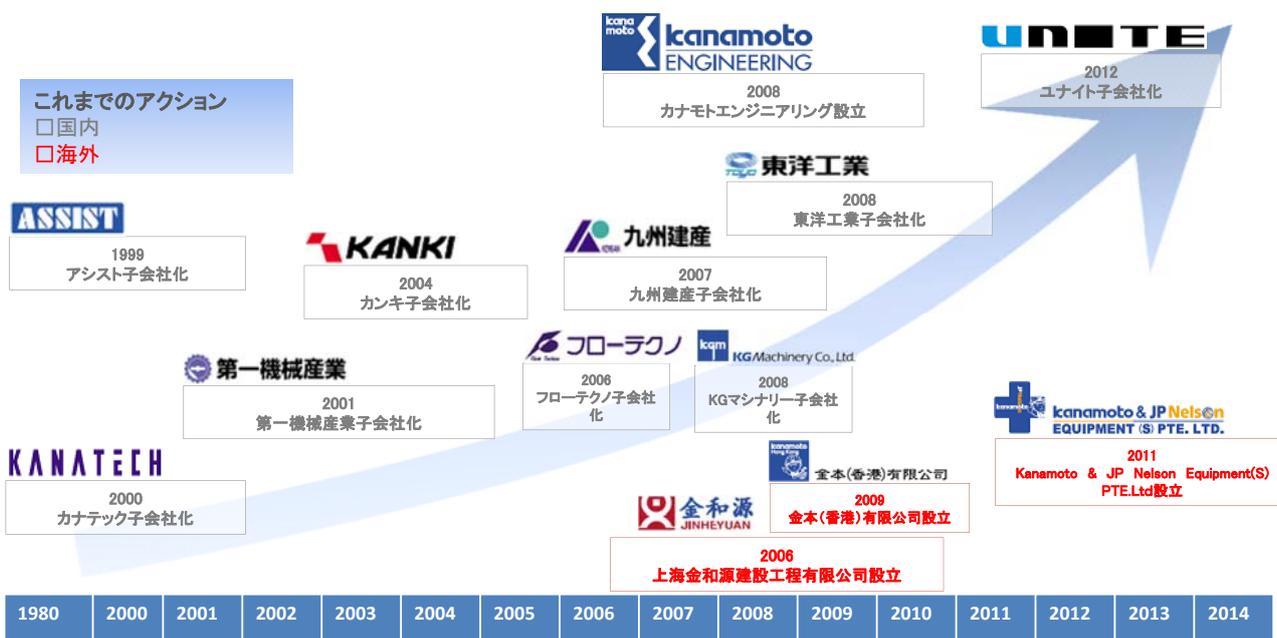
■国内営業基盤の拡充

北海道、東北地区の売上を維持しながら、官民の需要が集中する首都圏等の大都市圏のほか、関東以西の未出店エリアを中心に拠点展開、M&Aを推進し、成長軌道を維持する。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

これまでの主な国内外の営業基盤の拡充と拡大



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

4 中期経営計画の重点施策

■海外展開

上海、香港、シンガポールの既存子会社を維持拡大させつつ、さらに発展著しいASEAN諸国を中心に海外事業を展開し、当社グループの得意分野でもある地盤改良やシールド工法など特殊機械の需要が見込まれる、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、ミャンマー、カンボジアなど、各国における事業展開を図る。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

11

4 中期経営計画の重点施策

■内部OPの最適化

当社グループの収益の根幹は建設機械の管理と業務の効率化にあると考え、貸出単価・値引管理の強化や「業務改善推進」による業務プロセスの向上からコスト削減、時短の実現を図る。

また、本部サポート機能の拡充、関連各社とのシステム統合により業務の一層の効率化を図る。

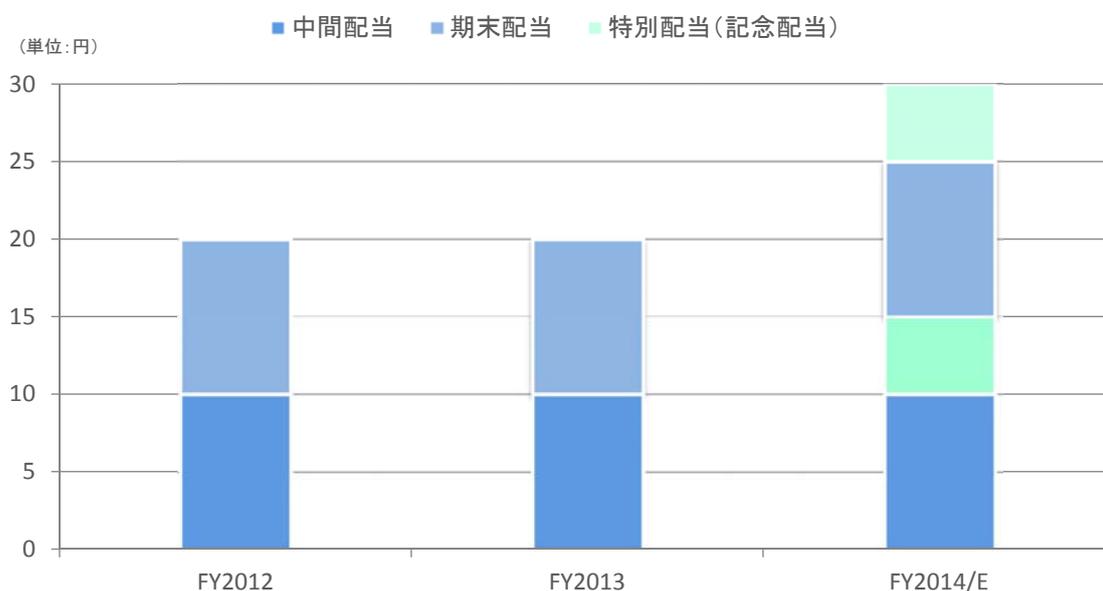


(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

12

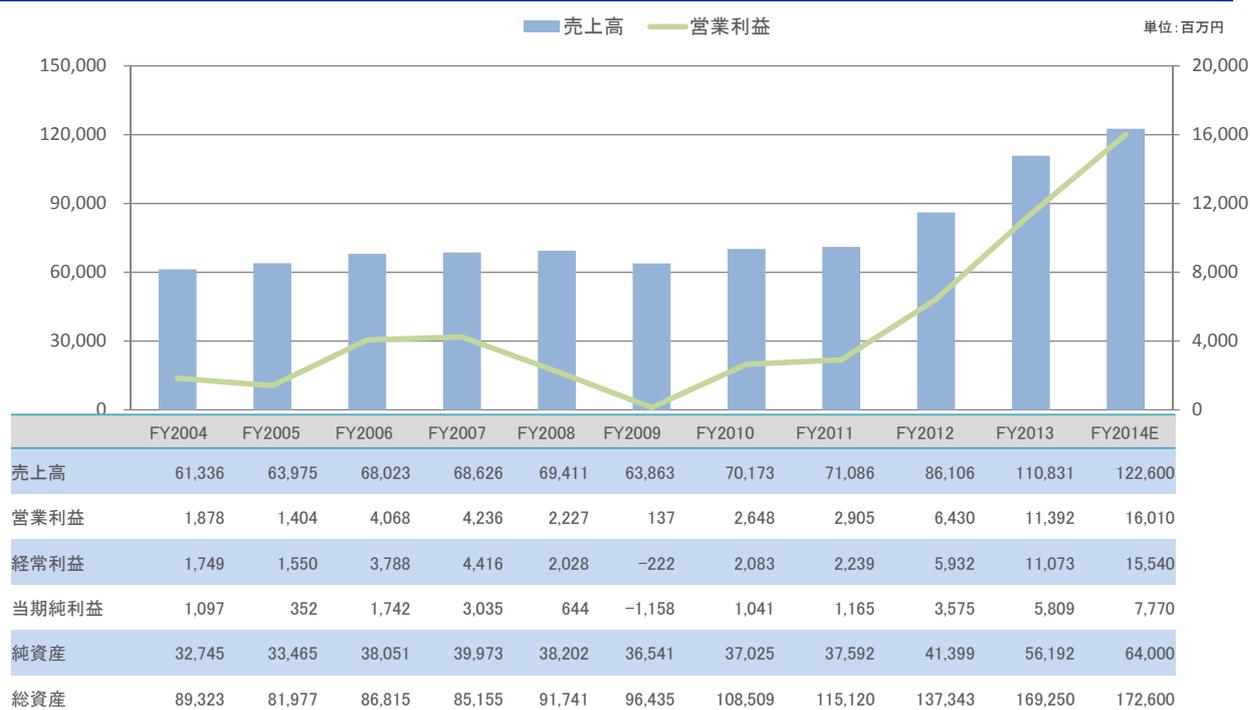
5 配当政策

■ 配当政策につきましては、安定した配当を持続させることを経営の課題としている。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

6 連結業績の推移(ご参考)



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

15

お問い合わせ先

株式会社カナモト 社長室 広報担当
〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1-19
TEL.011-209-1631(土日祝除く 8:30~17:00)

ホームページ <http://www.kanamoto.co.jp>
IRサイト <https://www.kanamoto.ne.jp>

【免責事項】

本資料に含まれる歴史的事実ではないものは将来の見通しです。
将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり多分に不確定な要素を含んでおります。
従いましてこれらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
実際の業績等はさまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2014 All rights reserved.

16